

# Sports Net

## ちば 2017年 4月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2017年 3月31日

「スポーツは平和とともに」  
新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL [http://sports.geocities.jp/njsf\\_chiba](http://sports.geocities.jp/njsf_chiba)

E-mail [njsf1970chiba@gmail.com](mailto:njsf1970chiba@gmail.com)

発行人 園川 峰紀

通巻 180号

スポーツ愛好者・団体との協力・協働を押し進めよう！

## ～ 第45回千葉県連盟定期総会開催！ ～

桜もそろそろ開花を迎えてもおかしくないようなぽかぽか陽気に恵まれた3月19日（日）午後、千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所会議室にて「第45回千葉県連盟定期総会」が17名の代議員及び14名の理事・監事の出席の下、開催されました。

冒頭園川県連盟理事長開会挨拶、宮内全国連盟副理事長から来賓挨拶を受け、2016年度活動報告・2017年度活動方針提案、2016年度決算報告・2017年度予算案提案、会計監査報告と進んだ後、休憩をはさみ質疑・討論に入りました。

今年の県連盟総会に向けた議論で理事会がひねり出した副題は「スポーツ愛好者・団体との協働を押し進め、活力ある連盟づくりに取り組もう」でした。

協働とは？言うまでもないことですが、単純な共同作業ではなく共に汗を流し同じ目標に向かって切磋琢磨することにあります。討議の内容もこの趣旨に沿ったものとなるべく佐々木議長の巧みな進行で進みました。

協働するにはどうすればいいか？との問いかけには「連盟以外の各種大会にも顔を出し繋がりをつくっている（卓球協）」「連盟に加入してなくても参加できる大会運営を行っている（野球協）」「愛知県連盟では多くの会員を抱えていることから発言力も大きい。会員拡大の為に連盟員でなくても参加できる大会を行っている（テニス協）」「繋がりを増やすために千葉陸協主催大会に

顔を出している（ランニング協）」等々の意見が出され、各協議会でも様々な努力が行われていることがわかりました。



また、会員拡大を図るにはとの問いには「100チームが加盟している千葉市社会人連盟HPの掲示板を大いに利用して県連盟大会を宣伝していきたい（バレー協）」「会員の中にITに詳しい人がいて、その方の協力でHPリニューアルを行った。会員にもっと頼ってもいいのでは（テニス協）」「ITもいいが名刺に連盟員であることを明記しアナログ的な宣伝方法もいいのでは（野球協）」「HPもいいがブログをもっと利用する方法もある（卓球協）」「ツイッターを活用している（サッカー協）」「スキーは若年層と高年齢と要求が違う。高年齢層に絞った勧誘でもいいのでは（スキー協）」等々、考え方や見方を変えると色々な方法が議論百出。

討論のまとめとして、協力・協働を進めるには壁を作らず我々から相手に飛び込んでいくこと、会員拡大は、個々の人の繋がり・SNS等の活用を大いに図り気軽に声かけを行っていくことが肝要であることを確認しました。

最後に活動報告・方針の採択、決算報告・予算案をそれぞれ採択し無事定期大会を終了。総会終了後有志20名が稲毛駅近くの中華料理屋に場所を移し、さらなる議論が続けられました。

世代交代・会員拡大・ひろば誌普及等課題満載の2017年の県連盟の船出に幸いあれ！

（文責：園川）



1位 カルセオラリア 2位 カランコエ

# スリーダブルスお花大会を開催

千葉県卓球協議会

県卓球協議会主催の本年度最終卓球大会「3ダブルスお花大会」が3月15日（水）千葉公園体育館で開催されました。

季節外れの真冬並みの天候ではありましたが、県内外から『卓球！好きやねん！！』の皆さん、79チーム237名が参加しました。エアコン設備の無い会場は寒さでジッとしてられない位でしたが、選手の皆さんはスタンドでは寒さに震えていても、いざゲームになると全く別人の如く、右に左に軽快の動きでカウンター・ブロック等、持っている技をフル活用して素晴らしい熱い戦いを展開されていました。

A～Dランク15ブロックに分かれ、会場中に活気のある声援があがり、元気ハツラツ素晴らしい大会は16:30に無事終了となりました。

前年大会より8チーム増えたことは来年度につながって行くと思います。今回で18回目になるこの大会ですが、

20回、30回を目指して役員、スタッフ一同は常に参加選手目線で進んでいきたいと思ひます。

(卓球協議会運営委員長 山口 順)

試合結果は以下の通りでした。(1位のみ)

## Aランク

Aブロック クローバー (山崎・本間・小林)

Bブロック Smile (千葉・貞松・黒石)

Cブロック SON PIN pon (荒木・岩田・青木)

## Bランク

Aブロック 白金クラブ (佐土原・君塚・若月)

Bブロック 菜の花クラブ (高城・今井・竹内)

Cブロック フォルテB (小平・根本・坪川)

## Cランク

Aブロック ダイヤモンド (菊地・根本・小桧山)

Bブロック 一球会 (池山・土田・松本)

Cブロック ウイング (高橋・島田・鈴木)

Dブロック こすもす (真船・高井・増田)

Eブロック 球友会A (神地・柴崎・中谷)

## Dランク

Aブロック 茂原クラブ (佐藤・関・中山)

Bブロック グレープ (阿部・矢崎・木村)

Cブロック ピーナッツ (竹内・飯島・国分)

Dブロック はまぎく (中野・境・森下)



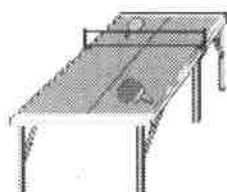
Aランク Aブロック クローバーの皆さん



Aランク Bブロック Smileの皆さん



Aランク Cブロック SON PIN ponの皆さん



# 第2期スポーツ基本計画は役人の作文?!

## ~~~~第5回研究会レポート~~~~

3月22日～23日、都内池袋で新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所主催「第2期スポーツ基本計画・学習指導要領改訂と体育・スポーツ実践・運動の課題」をテーマにシンポジウムが開催されました。

1日目3名のパネラーの報告は次のとおり

1) 内海和雄・広島経済大名誉教授  
第2期スポーツ基本計画（中間報告）の概要と我々の提言

2) 神谷 拓・宮城教育大准教授  
学習指導要領改訂と学校教育・運動部活動のあり方を問う

3) 宮内泰明・新日本スポーツ連盟  
東京都連盟事務局長  
地域スポーツ運動の課題—新日本スポーツ連盟東京都連の活動から

※加藤 徹・東京国際福祉専門学校の「障がい者スポーツのあり方について」は文書報告となりました。

2日目2名の個人報告は次のとおり

1) 山崎 健・新潟大教授：  
トレーニング科学入門（試論）」の内容と構想

2) 鈴木直文・一橋大学教授：  
オリンピックの社会不正義

私が参加したのは22日の1日だけでしたが、2011年に成立したスポーツ基本法の見直しに興味がありましたので内海名誉教授のテーマに絞って報告します。

内海教授は、第2期スポーツ基本計画は裏付けとなる予算措置が一切語られていないことから役人が作った作文であると一刀両断。本来スポーツはスポーツ・フォー・オール政策＝福祉国家の政策であるべきと主張。余暇補助を基本とする。つまり、スポーツに参加するには時間・金・仲間がいて公共スポーツ施設があって成立するもの。しかしながら、その前提条件が第2期基本計画には皆無であると、その理由として以下の点が挙げられました。

その1：スポーツ関係予算の対GDP比について諸外国と比較すると日本は低い水準にある。例えば日本を1として西欧諸国のイギリス・フランスは約10倍、スウェーデン・デンマークは約12倍、人口比で約10倍

の中国と比較しても1.6倍、お隣韓国は約5.2倍とお寒い限り。スポーツは福祉であるとの視点が活かされなければならない。

その2：国のスポーツ関係予算は2011年度約228億円で近年では微増。しかし競技スポーツ予算が大きな比重を占め、生涯スポーツ関連予算は10%前後。

その3：地方のスポーツ予算は1995年をピークに年々減少。施設建設に為の予算は四分の一程度。これでは新たな施設は作れない。

その4：サッカーくじのスポーツ予算に占める割合が年々増加。本来予算でカバーすべきものだが、その努力がなされていない。



中間報告の提起は、五輪・パラリンピックキャンペーンは強調するが国民のスポーツ参加政策は低く放置。第1期の総括ができていない。公共責任について具体性が無い。予算規定がないから具体的な方法が展開できないことから「取り合えず必要と思われる施策を列挙した。。。。」と酷評。しからは第2期基本計画を具体化するには、福祉国家化以外に処方箋はない。つまり国民の労働・福祉の充実が前提となると内海名誉教授は強調。

ここに私たちが勧めている自治体へのスポーツ予算増額・公共スポーツ施設増設等を要求する運動の重要性があると改めて感じた報告でした。

その他、部活動を巡る現状と課題、地域スポーツ運動の課題等スポーツを巡る3名のパネラーの報告の後、質疑応答にはいり、新日本スポーツ連盟の運動との関係を含め熱心な応答が行われました。

(文責・園川)

## スキー全国競技会 男女入賞 千葉県スキー協議会

今年(2017年3月4日から5日にかけて長野県戸狩温泉スキー場で開催された「第43回全国スキー競技大会」に参加してきました。

千葉県からは、私と職場の後輩の東海林さんの2名のみの参加で、しかも二人とも初参加。不安な気持ちでの参加でしたが、全国スポーツ祭典の一環で取り組まれる大会ということで、「是非参加してください。」という、千葉県スキー協の東山理事長の後押しもあり、参加させていただきました。参加はさせていただきましたが、やっぱり二人きり!

初日の監督会議では、強面の各県の代表者に混じり、ビブス(ゼッケン)を受け取り気分は臨戦態勢。

4日の朝は、宿にお願いして早めに朝食を摂り、インスペクション(コース下見)前に一本でも多く滑ろうと頑張りました。

100人を超す参加者でインスペクションを行う中で、気持ちはどんどん高揚していきます。

ボードや少年の部が終わり、やがて女子の部。一緒に行った東海林さんは女子1部。ワンピース姿の選手に混じると、白と黒のウェアがかえって目立ちます。

『ピッ、ピッ、ピー』近づく出走順。気づくとスタートバーの前。スタート音にせかされるように一気にバーを切ります。

一つ目、二つ目ときれいにターンを重ね、やがて姿はコース彼方へ。こちらは見送るのみ。やがて聞こえるゴールタイムのアナウンス。「おーっ! 2位だ!」(結果は後の方が早くて3位に後退)

でも、GS(ジャイアントスラローム:大回転)2本合計で女子1部で3位という好成績でした。

男子4部は私の出番83番のゼッケンが重い! ワンピー

スに身を包みながらも、早くもいいわけが頭をよぎります。曰く「基礎用の板しか乗ってこなかった。」「競技の練習がほとんど出来なかった。」それでも、『ピッ、ピッ、ピー』という音にせかされスタートバーの前に、そろそろ頭は真っ白(髪は元々白いが...)。インスペクションで覚えたポールセットを思い出そうとしても浮かばない!! ヤバイ!!!

スタートバーを切った後は、ただただ、身体が覚えていることを繰り返すのみ。

ゴールエリアに飛び込んだら飛び込んだで「あそこをこうしておけば。」「もう少し攻撃的に滑れば」など後悔のオンパレード。とっている間にGSの2本は終わってしまいました。結果は、6位。二人とも入賞という幸運な大会となりました。



その夜の表彰式では、「千葉県から初参加だ!」とみんなが盛り上げてくれました。そのおかげもあり、来年は今年参加できなかったSL(スラローム:回転)の種目にも挑戦したいと感じました。

競技大会には、見るからに初心者という方々も出ていて、初めて出るにはうってつけの大会だと思いました。

みなさんも、脚に覚えのある方も無い方も、一度挑戦してみたいはいかがでしょうか。

(スキー協議会・素喜人 佐々木睦昭)

## スポーツアラカルト

### 「スポーツと私」

スポーツを続けてわかったことは...? !  
東山 千恵子(スキー協議会)

私がスポーツと出会ったのは中学校の部活でした。中学、高校の6年間はバスケットボール漬けの毎日でした。その後、学生時代は競技ダンス、社会人になってスキーを少し、子育て中はママさんバレーと、いつも何かしらスポーツを続けていました。

再びスキーを始めたのは、子育てが一段落し、再就職してからの職員旅行でした。初めは年1回のツアーに行くのがやっとでしたが、熱心な指導者と楽しい仲間達に恵まれ、年2回、3回と徐々に回数が増えたのでした。日常生活とは全く異なる環境と、下手でも毎日少しずつ上達する楽しさでスキーの虜になりました。

スキーの他に細々と太極拳を続けてきていますが、最近になって体幹をしっかりと保つことの大切さや重心を移動させて良い位置に来るといった感覚がわかるようになってきました。それと同時に、スキーと太極拳、まったく違う動きなのに基本になる動き

は共通していると気づきました。体幹をしっかりと保ち、重心の位置や体軸の移動を意識することで、より良い体勢でスピードに負けない滑りができるような気がします。

近年スポーツ界では、体幹トレーニングが重視されていますが、体幹を意識することはスキーを滑る時にも、とても大事なことだと思います。それこそがスポーツの基本中の基本ではないかと実感しています。

ただ、スキーを続けるためには年齢とともに落ちる体力をいかに維持させるかも大切なんだと、最近感じています。



## クラブ紹介

# フリーダム

千葉県卓球協議会

健康を保ちチームメイトと楽しく卓球が出来る事に日々感謝しております。



- ① **クラブ(チーム)名** フリーダム  
② **代表者** 仲野 きの江  
③ **チームの概要** (名前の由来・チームの特徴・練習日程・人数等)

2005年にフリーダムを設立しました。

設立に当たり全ての過去のしがらみを排除し、自由になり心身共に柔軟性を持ち、前進し、活動する意味合いでフリーダムと名付けました。

設立当初より新日本スポーツ連盟に加盟し活躍の場を広げています。現在14名のチームメイトで週3回練習に励んでおります。練習場所は茂原市民体育館・大網白里市アリーナです。

年齢が増す事により、諸事情も加わって来ておりますが、各々のペースにて練習・試合で活動しております。

クラブ員全員が家族の理解の元に参加しています。

④ **クラブのアピール** (2017年度の抱負等)

チームの目標は新日本スポーツ連盟千葉県卓球協議会が主催する年代別全国大会(団体)予選会を通過し、全国大会出場を目指す事です。60代、70代にエントリーしています。全ての年代で代表権を獲得できれば最高ですが、フリーダムとして1チームでも通過出来る事を目標にしています。

また、チームとしては卓球を通して相手に思いやりが持てる事を目指しています。



⑤ **その他**

(スポーツに関する情報・スポーツ連盟に期待すること等)

スポーツ連盟のいろいろな試合に参加し、有意義な時間を過ごさせて頂いております。

スタッフの方々に感謝しています。

(問合せ先：新日本スポーツ連盟千葉県連盟)



## 反核・平和マラソンへのご招待



### 毎年7月に開催される第17回 「千葉反核・平和マラソン」招待状!

今、国連では核兵器を禁止する条約成立に向け協議が始まっています。日本政府は唯一の被爆国でありながら後ろ向き発言に終始しています。

地球上から核兵器を廃絶する動きに呼応した新スポ連の一大イベントです。一歩でも、二歩でも一緒に走りません

日 時 2017年7月19日(日) 午前10時スタート

集合場所 千葉公園・綿打池前

# SPORTS CALENDAR

## 4月

2日(日) 野球協議会リーグ戦  
 9日(日) 野球協議会リーグ戦  
 16日(日) 野球協議会リーグ戦  
 22日(日) 祭典・ミックスバレーボール  
 23日(日) 野球協議会リーグ戦  
 第36回春季テニス大会  
 29日(休) 野球協議会リーグ戦

千葉県卓球協議会総会 15日(土)  
 千葉ランニングクラブ総会 19日(水)  
 全国理事会 8日・9日



## 5月

3日(水) 野球協議会リーグ戦  
 第36回春季テニス大会  
 4日(木) 野球協議会リーグ戦  
 第36回春季テニス大会  
 6日(土) 春季卓球大会  
 7日(日) 野球協議会リーグ戦  
 第36回春季テニス大会(チーム対抗)  
 14日(日) 野球協議会リーグ戦  
 20日(土) 第36回春季テニス大会  
 21日(日) 野球協議会リーグ戦  
 春季サッカー大会(予定)  
 第28回シニアテニス大会  
 27日(土) 第36回春季テニス大会(チーム対抗)  
 28日(日) 野球協議会リーグ戦



千葉県テニス協議会総会 3日

### 20年ぶりのサイパン訪問

~~~~常夏の島にも変化の波が~~~~

3月上旬の五日間、友人の勧めもありサイパンで開催されたハーフアイアンマン大会のスタッフとして久しぶりの海外旅行に出かけてきました。今からちょうど20年前、現役当時に業務出張で訪れて以来のサイパン訪問でした。抜けるような青い空と太陽の輝きは当時のまま。しかしながら見かける観光客は中国人と韓国人が殆ど。日本人はあまり目立たない感じでした。それもそのはず、昨年サイパンを訪れた日本人観光客は約4万人。一方、中国人観光客や韓国人観光客はその10倍以上。20年前は全く逆の状況でした。当時宿泊したホテルはそのままの懐かしい姿でしたが名前が変わっていました。更にびっくりしたのは、この3月にオープン予定だという建築中の中国資本というバカでかい「カジノホール」。外観はまるで竜宮城を思わせる20階以上はある「金ぴか」のビル。静かなリゾート地に似つかわしくないビル！工事の進捗状況からはとてもじゃないが24時間突貫工事を続けても3月オープンは無理な感じでした。

日本でも先の臨時国会で、わずか数日間の審議で法案が通過してしまった「カジノ誘致法案」カジノ誘致に熱心な大阪・横浜・長崎等にこんな派手なビルが

建ったら一体全体地域の治安はどうなってしまうのだろう？と一抹の不安を感じました。ギャンブル依存症が心配されるにも関わらず、景気浮揚策の一端を担う、アベノミクスに寄与するという安倍首相の号令で突っ走ってしまう。今の日本の危険な方向を肌で感じました。

サイパンは太平洋戦争中に日本軍と米軍が死闘を繰り広げたところです。今も島の北部には「バンザイクリフ(スーサイドクリフ)」や「ラストコマンドポイント」等戦跡には観光客の姿が絶えません。そんな環境の中でトライアスロンができるということはやはりスポーツは平和でなければできないとの思いを参加した選手にも感じてくれたらと思っただけで大会運営を手伝った五日間でした。

園川 峰紀

(注) ハーフアイアンマンとは、スイム1.9km/バイク90.1km/ラン21.09km合計113.09kmを一人で走破する複合耐久競技。毎年ハワイ・コナで開かれるアイアンマン大会の半分の距離で行うトライアスロン競技。



理事長のつぶやき